

会 議 録

会 議 の 名 称	令和４年度第２回行田市女性活躍推進ネットワーク会議	
開 催 日 時	令和５年２月１５日（水） 開会：午前１０時３０分・閉会：午後１１時４５分	
開 催 場 所	行田市男女共同参画推進センター 学習室	
出席者（委員）氏 名	山崎孝子委員（座長）、吉澤篤人委員（代理人出席）、吉岡浩司委員、西田信子委員、持田恵美子委員、井上文子委員、横山訓子委員、上木孝子委員、大中美奈子委員、新井幸恵委員、黒澤麻美委員（名簿順、敬称略）	
欠席者（委員）氏 名	岡田恵美委員、根岸桃子委員、石井理央委員、小原正行委員、佐藤智恵委員、坂詰恭子委員、永島志津江委員、幅崎麻紀子委員、川鍋和史委員、宮田詩織委員	
事 務 局	堀口修司（所長）、新島紀子（主任）	
会 議 内 容	（１）行田市女性活躍推進事業行動計画（案）について （２）令和４年度女性活躍推進事業計画（案）について （３）その他	
会 議 資 料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議次第 ・ 委員名簿 ・ 資料１ 令和４年度行田市女性活躍推進事業実施報告 ・ 令和５年度女性活躍推進事業計画（案） ・ 誤嚥性肺炎予防講座実施報告 ・ アンケート結果集計 ・ チェックリスト ・ 情報誌「VIVA ぎょうだ」 	
そ の 他 必 要 事 項	傍聴者 無	
会 議 録 の 確 定	確 定 年 月 日	主 宰 者 記 名 押 印
	令和 ５ 年 ３ 月 ２ ７ 日	山崎 孝子

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
司会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 開会。 ・ 挨拶。 <p>配布資料の確認。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本日の会議は、個人情報を取り扱う予定がないことから、原則公開とさせていただく。また、会議録については、委員名を明記の上、市政情報コーナー及び市ホームページにおいて公開させていただきます。 <p>本日の傍聴希望者は無。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（１）行田市女性活躍事業行動計画（案）の説明
座長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事務局からご説明あったが、アンケート結果にグラフがたくさんありわかりやすい。男性講座について、人気がある講座なのにSDGsが入ると、参加人数が３名というのはちょっと寂しかった。 <p>また、男女共同参画の健康に関わることなので、誤嚥性肺炎講座も行いました。井上委員、何かご意見あるか。</p>
井上委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今まで本当に講座だけで、「この講座って何のため？」というのもあったが、今回はすごく改善されており、２部構成でSDGsの講座も入っていた。ヨガ講座では、それが良かったと意見もあった。だからすごく改善されて良いと思う。子どもはゲームなどで楽しめたかなと思うが、男性の方を、どうするか、皆さんで考えていきたいと思う。
座長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 横山委員、何かご意見あるか。
横山委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ どういうふうに知らせたら参加者が集まるのか。 せっかく良い講座をやっていて、すごくもったいないというところがある。ハローワークでも、配布していたが、どうしたらもうちょ

座長	<p>っと広まるかと思っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ パソコンで、エクセルやワードを使ったものをやっている。1回だけの参加でもよいのでしょうか。自分ができない所だけでも参加できるということが、皆さんに知れ渡っていれば、利用して下さると思いますけど、なかなか認知が行き渡ってないのか。その辺がちょっと残念です。 <p>上木委員、何かご意見あるか。</p>
上木委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ まず人が集まらなかった男性講座についてだが、男性だけをターゲットとして集めようとする、難しいのかなと思う。ジェンダー平等という中の男性をテーマとしたような課題にして、女性も男性も参加できるような講座にするとか、そういった工夫があれば少し集まるのではないか。皆さんで聞いていただいて、お互いの意識を高めていけるのかなと感じた。 <p>女性活躍推進事業で、就業に向けた講座等を多くやっていると思うが、具体的に面接でよく聞かれる質問とマナーを 30 名募集して 30 名参加ということだが、どこをターゲットにしているのか、実際に就業に結びついている方がいるのかを聞ければと思った。</p> <p>パソコン講座については就業支援セミナーということで開催し、就業を目的とした方が受けられる講座だと思うが、既に就業済みの方も参加されていたというお話があり、こちらもどういう方をターゲットとして実際に就業に結び付くような講座になっているのかとお聞きしたい。</p>
座長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事務局どうか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ まず、加須市で行った就業支援セミナー講座は、就職を希望される方ということで募集をかけており、年齢等の制限はしていません。パソコン講座も、就職を希望者の方が対象で、面接の仕

	<p>方とか、求人票の書き方とかを中心に行っている。</p> <p>それから、就職した後に、簡単な表計算とかができるようにとやっている。</p> <p>実際に、受講者が就職活動を行っているかについては、昨年度からお話が出ているところで、パソコン講座については、受講者に就職活動をしたかのアンケートのお願いをしてある。加須で行った女性活躍推進事業については、そこまでの調査は行えないと思う。どの程度就職に繋がっているのか確認はできないと思います。</p>
座長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定員 30 名ということは、行田だけではないですからね。加須と羽生と行田を含んでいるとなると把握は難ですかね。 <p>大中委員、何かご意見あるか。</p>
大中委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ このセミナーはハローワーク行田さんにご協力いただいて、企業を呼ぶということが大きなポイントで、このような形でやっているのはまだ県内で数少ない。先ほど就職率の話が出ていて、やはりその方が就職するかどうかは大きな指標ではあるが、こういう場に来て企業の話聞いて、次にまた違う一歩を踏み出せるということも一つ重要だと思っている。
座長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 就職について、オンラインもあるしパソコンのスキルも問われるところではある。黒澤委員、何かご意見あるか。
黒澤委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 私たちのところでもこういうイベントの企画、セミナー・講演会の企画等をしている。定員割れすると講師の方にも申し訳ないという気持ちになる。イベントや講座は定員いっぱい参加者が集まるものが多いと思う。 <p>今回 3 名しか参加がなかった理由で、料理はしたいけど SDGs の勉強はちょっとという率直な意見を聞いている部分もあると思う。では、どうしたら定員まで呼べるかということは、難しい</p>

	<p>ところではありますが、私としては、「VIVA ぎょうだ」に男性 10 人が来るだけでも、すごく意味があると思っている。無理に SDGs の講座をやらなくても、目的は料理をしたかっただけかも知れないけど、10 人の方がここにお越しいただいて、この建物はどういう目的で建てられたもので、どんなことをしているのかをお話しさせていただきだけでも良いと思う。</p> <p>来ていただいた方が、家に帰って、ご家族に施設の話をしたり、お友たちを誘って来年参加していただければ、それでも良いのかなと思うので、無理に 2 部制にこだわらなくてもよいと個人的にはしている。</p> <p>ただ数年、会議に参加させていただいて、委員の皆様から、講座だけで意味があるのかというご意見をたくさん聞いているので、ちょっと難しいところなのですが、参加者が来ないと意味がないというのもあると思う。私も日々イベントの集客に苦慮しているので、一つの意見として述べさせてもらった。</p> <p>・ 主催する方にとっては、講座に人が集まらないのが一番残念なことですね。私も、SDGs という言葉自体のハードルが高いと思う。もう少しやわらかな形でやっていただいて、それを料理とかで繋げていくようにすれば軽めに行けるのかなというのが、先ほどの意見に対する感想です。</p> <p>新井委員、何かご意見あるか。</p> <p>・ 先ほどお話を聞いて、私も感じたのですが、この男性講座、「ジェンダー平等意識を深めつつ」なんて言われても行こうとは思わない。今は、男性女性という時代ではない。男女共同参画とは言っても、LGBT の問題とかいろいろあって全ての方にとって有効な講座が求められていると思う。例えばお蕎麦を作りたい方は多分いると思う。それを前面に出して、その中で少し話をするとか、あとは、講座に参加される方は、もともと意識が高い方たちで、そういう意識は持っている気がするのです。ですから、人が集ま</p>
座長	<p>・ 主催する方にとっては、講座に人が集まらないのが一番残念なことですね。私も、SDGs という言葉自体のハードルが高いと思う。もう少しやわらかな形でやっていただいて、それを料理とかで繋げていくようにすれば軽めに行けるのかなというのが、先ほどの意見に対する感想です。</p> <p>新井委員、何かご意見あるか。</p>
新井委員	<p>・ 先ほどお話を聞いて、私も感じたのですが、この男性講座、「ジェンダー平等意識を深めつつ」なんて言われても行こうとは思わない。今は、男性女性という時代ではない。男女共同参画とは言っても、LGBT の問題とかいろいろあって全ての方にとって有効な講座が求められていると思う。例えばお蕎麦を作りたい方は多分いると思う。それを前面に出して、その中で少し話をするとか、あとは、講座に参加される方は、もともと意識が高い方たちで、そういう意識は持っている気がするのです。ですから、人が集ま</p>

座長	<p>るところに出向いて、話をするとか、例えば成人式などへ出向いて隙間時間で話をするなどはいかがか。</p> <ul style="list-style-type: none"> やはりいろいろなところから浸透させていくのが大切かなと思う。 <p>松原委員、何かご意見あるか。</p>
松原委員	<ul style="list-style-type: none"> 先ほどから話題に上がっている男性の講座だが、当初はなかなか人が集まらないというところから始まって、次に皆さんの興味のある講座をしましょうとやっていたら、今度は本来の目的が伝わらないということで、改善を続けながら今に至っている。 <p>今、そのバランスが難しい時期なのだろうと思う。ここで参加人数も増えてきて、伝えたいことも伝わるという良い方向にいていると思うので、両方のバランスをとりながらやるのは、難しいとは思いますが進めて欲しい。</p> <p>3名参加してくださった男性講座のアンケートを見ると、「SDGsのセミナーもやってみれば意外と面白いのに参加者が少なくて勿体なかった」というご意見もいただいている。やはり集客について改善していけば、もっと多くの方に伝わっていくと思う。</p> <p>別の講座で、就職応援セミナーで、こういった講座は非常にいいと思っている。採用担当の人事部の者に話を聞いてみたが、育児が終わり、数年ぶりに仕事を再開したいという方に関しては、最初の面接時の印象は非常に大切だと感じた。服装であったり、ビジネスマナーだったり、敬語は使えるかとか、コミュニケーションは取れるかとか、面接のときに見ているようです。</p> <p>すごく、よいスキルを持っていても面接時に、上手く伝えられない方も多くいると思うので、復職される方が早く仕事に就けるような支援として面接の練習だとかが、就職活動に繋がっていくのではないかと思うので今後もぜひ続けていただきたいと思う。</p>

座長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 吉岡委員、何かご意見あるか。
吉岡委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本日、初参加で皆様のお話を聞いて地域の活動とか積極的にやっていたらいい中で、参加しやすい講義とかを考えるのが、大変だなと感じている。
座長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 西田委員、何かご意見あるか。
西田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議も何年もやっているの、単には啓蒙活動とかをするだけでなく、実践的なことをやってはどうかと伝えようと思ってここに来た。しかし、4年度の事業を見たとき、すごく充実しているなと思った。 <p>男性講座だが、男性がすでに料理に来ている中で、講座をやるわけですから SDGs はちょっとチグハグな感じがする。そんな2部構成みたいにしなくても、すでに意識ある方が来ているわけだから、その方に SDGs っていうのもちょっと分かりにくい。</p> <p>女性だから男性だから料理をする、しないという時代ではないことを分かっている方たちなので、もう一歩少しだけ確認する程度のレベルで良かったのではないかなと思った。</p> <p>それから、女性の就職関係で、日本の人口は減少しているのだから、女性が活躍しなくてはと思っている。だから、どんな人も仕事の機会に触れられることをやっていただきたいと思う。</p> <p>今、月に何名か就職面接を行うのですが、中にはそんな人もいると思うような方もいる。最初は敬語だが、面接中に肘を付くとか、そのうち「うんうん」と言い出したりする。</p> <p>ちょっとした所だが、そういう部分を従業員が見ていて、あの人を雇うのですかななどの話になる。仕事ですから、そういう一線を大切にしないと、他人との関わり合いにすごく影響するのだなと感じている。ささいな事だが、とても大切なことだと</p>

<p>座長</p>	<p>思っている。</p> <p>履歴書にしても、経歴までしっかり書いてくる方もいれば、全くゼロの方もいる。仕事の能力とか資質とかの部分について、紙でしかもらっていないわけです。そのあたりのアピールの仕方を知らないことが、もったいないと日々感じている。</p> <p>就職支援について、仕事の機会に触れることをやっていただいていることは、すごいと思います。これからも、実践と意識づけのバランスと時間、内容など、もう少し精査すれば魅力的なものになると思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実体験がすごく伝わってきます。私も同じように感じることもあります。 <p>持田委員、何かご意見あるか。</p>
<p>持田委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 料理は、参加しやすいので、いい企画だと思っている。親子料理は、子どももそうだけど親も楽しみにしていると思う。 <p>たんぽぽという子育て支援で、お母さん同士で話し合える機会を与えるような活動があるのですが、お母さんたち、とても楽しみにしているとのことでした。ですから、親子料理もこういう機会をずっと続けていくことは、とてもよい事だと思っている。</p> <p>また、SDGs講座で、子どもにはゲームで、意識を高めるのは、いいやり方ですね。大人も同じだと思います。</p> <p>男性での講座が不評だったのは、このタイトルが難しくて二の足を踏んだのかなと感じた。私もそば打ちの講座を公民館で受けたことがあるが、女性も、男性もいた。男性と限らなくてもいいのではとも思った。</p> <p>それから、パソコン講座とか面接の講座とかも必要だと感じた。今、西田委員の話を聞いて、履歴書の書き方から必要なのだと感じた。</p> <p>友人が公民館で行われたスマホ講座に行ったとい話を聞いた。パソコンも必要だが、スマホもいろいろ活用する時代だと思いま</p>

座長	<p>すので、スマホ講座も取り入れてみてはどうかと思う。</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ それぞれ皆さんに貴重なご意見いただいた。他に何かがなければ、次の議題に進みたい。 <p>いろいろたくさん貴重なご意見いただいた。一点、男性講座だが、そば打ちだけでなく、普通の煮込み料理とか、魚料理とか、やったらどうかという意見もあり、今後いろいろな男性料理講座を考えていきます。</p> <p>また、男性も女性も一緒にというご意見もあったが、たぶん一緒にやると、女性に押されて男性が来なくなる傾向があるかなと思っているので、男性の料理講座ということでやっていきたいと思っている。</p> <p>もう一つ、SDGsの話だが、確かにハードルが高くて大変かなと思っている。ただ、講座のアンケートを見ると、「最初は億劫だなと思って来たけれど、SDGsの講座を受けてみると、知らなかったことを教えてもらえてよかった。」などが見られる。</p> <p>男性にも億劫だが来てもらえれば為になりますよと伝えたい気持ちが事務局としてはあり、来年度の課題としてやらせていただければと思っている。</p>
座長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事務局がいろいろやっているのは、わかる。それでは（２）令和５年度女性活躍推進事業の計画案を事務局からお願いする。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ （２）令和５年度女性活躍推進事業の計画案説明
座長	<ul style="list-style-type: none"> ・ この案で来年度企画するが何か意見あるか。今回新しくピラティスという講座は、前年のヨガの代わりか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ はい、アンケートをとったとき、意見がでていたので、新しいものにチャレンジしたい。

座長	<ul style="list-style-type: none"> 新しいものを取り入れるのは、いいことだ。あと新しく在宅避難のすすめというのも、トルコの地震があったばかりなので、備えあれば患いなしでいいかなと思う。 <p>井上委員、何かご意見あるか。</p>
井上委員	<ul style="list-style-type: none"> 各講座の案内が市報に載るわけですが、最近驚いたのですが、若い人で市報とか見てない人がいる。私たち高齢者は、どの講座に出ようと、市報が来るのを毎月楽しみにして、それでチェックしている。 <p>若い人のために市からの LINE とかで載せられるような形にしたら、市報を読まない若者にも伝えられるのかなと思った。</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ホームページには載せており、Twitter の方にも簡単なものが流れるようになっている。LINE の運用には、取り決めがあり、講座の情報は流せない。いろいろな情報が流れてくると、結局見なくなると思っていて、重要なことしか流さないようだ。
座長	<ul style="list-style-type: none"> 大中委員、何かご意見あるか。
大中委員	<ul style="list-style-type: none"> 私も LINE と思ったが、知らない情報も流れてくるのが問題で、難しいものだと思った。そうすると、なかなか市役所に貼ったりしても若い方は見る機会はないし、回覧が回ってきても、遅く回る地域とかもあったりするので、お知らせする方法が、難しい。効果的な方法を考えていかないと思っている。
座長	<ul style="list-style-type: none"> 同じ記事にしても目に止まるか止まらないかというのは、その人の意識だと思う。先ほど井上委員のお友達のように、何かよいイベントはないかなと探す人と、こんなの関係ない見過ごす人がいる。情報を流しても、それが伝わるか伝わらないかは、その人によると思う。松原委員、何かご意見あるか。

松原委員	<ul style="list-style-type: none"> 私は、どんな講座をやっているか、今は見たりするが、この会議に参加させていただく前までは、ほとんど見ていなかった。来年度の講座だが、以前は、リモートでの講座があったと思うが、今回はない。内容的にもリモートでは難しい部分もあると思うが、そういった講座もコロナが落ち着いてきたとしても、参加人数を増やす、より多くの人に聞いていただくという意味では、リモートなどの Zoom でも参加、ハイブリッド形式だったりしてできる講座があるなら、取り入れてほしい。
座長	<ul style="list-style-type: none"> 西田委員、何かご意見あるか。
西田委員	<ul style="list-style-type: none"> 私もリモートの内容によっては Zoom など誰でも参加できるのはあった方がいいなと思う。あと、LINE が駄目なら市報に QR コード載せて、そこから講座の申し込みができるのはどうかと思う。世の中の変化はすごく速いと感じていて、全然興味がない人も多いが、啓蒙していくのがこの男女共同参画の位置づけなので、それは興味ないと言われても、どんどん続けて行って欲しいと思う。
座長	<ul style="list-style-type: none"> 上木委員、何かご意見あるか。
上木委員	<ul style="list-style-type: none"> <p>昨年まで、事業担当をしていたが、やはりどうやって人を集めるかが課題でした。若い方はホームページなどを見ることをしないのです。なので、新たに SNS で Facebook を始めたりした。そうすると、参加してくださる方の年齢層がちょっと変わってきたので、いろいろな方法をとって異なる年齢層が、見るものを発信していくのが必要かなと考えている。</p> <p>男性講座の内容が未定となっているが、課題として男性の家庭や地域への参画の促進っていうふうに書いてあるので、県では今年度から男女参画基本計画が新たに始まり、その中の柱立ての一つとして、「男性の家庭や地域の参画」を柱の一つにしてい</p>

座長	<p>ます。何かお手伝いできることがあれば一緒にやらせていただければと思う。</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ それでは、その他をお願いしたい。
座長	<ul style="list-style-type: none"> ・ その他の1つ目は、情報紙ビバの発行のお知らせになる。今回は行田警察の生活安全課さんと、VIVA で実際に相談を受けている相談員の先生に執筆の依頼をした。中を見ていただくと、今日行った終活セミナーの写真を入れて、大体完成となり、3月の上旬に配布の予定になっている。用紙は黄色がいいかなと考えており、紙質はもう少し厚紙になる。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今初めて見たが、写真に結構インパクトがあり、警察からのお願いもあり、くるみんのマークもある。皆さんどうでしょうか。各戸別配布しご覧になると VIVA ぎょうだの活動を知る方が増えると思う。
座長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今は、予算がなく自前で作っている。公民館とか主な公共施設に置くだけになっている。それから、ホームページには掲載している。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公民館に置けば見る方もいるから、それでいくらか周知ができる。こんな講座をやっているとかの内容をお知らせするという意味では、やっぱりいいことだ。これをどのぐらいの割合で出すのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年に1回だ。前は2回だったが、ダイジェスト版として1年間の講座と、今回は相談員さんと行田警察署さんからのコメントをいただいた。
座長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 来年度は、どんなことを盛り込んだらいいかなど、意見を聞い

事務局	<p>ていただけたらいいと思う。頭の隅に入れてほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 情報紙の補足説明をする。右側で DV とかの相談件数の推移ということであるが、令和 3 年度、一時保護をした件数が 5 件ということで、去年はとても保護する件数が多くて大変だったが、今年度は、現在保護件数は 0 件だ。特に県南では DV 案件とか相談とかが、だいぶ増えているが、行田市については、落ち着いている。男女共同参画推進センターは名前の通り男女共同参画も行っているが、相談業務や、DV 被害者等の避難等おこなっている。
座長	<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナで在宅ということで、いろいろトラブルが起きることもある。これからもよろしく願います。それでは事務局にお返しします。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 皆様、長時間にわたってご審議ありがとうございました。これにて閉会いたします。 <p>● 閉会</p>